

農福連携「ユニバーサル農園・風の森ファームプロジェクト」

農福連携が注目されている中、地域との交流にも目を向けたプロジェクトが袋井市ではじまっています。



社会福祉法人 なごみかぜ

所在地：袋井市
ホームページアドレス
<https://www.nagomikaze.com/index.html>
TEL 0538-45-2771
農場の運営、作業

社会福祉法人

ユニバーサル農業 研究会@ふくろい

所在地：袋井市
メール：
universal.agr.2018@gmail.com
コンサルタント、コーディネート

NPO

地元農家

所在地：袋井市

農場提供・アドバイス・作業補助
シイタケ用の原木の供給等

個人

地域の人たち

所在地：袋井市

サポーターとして作業補助、藍染め体験会へ参加、農産物の購入等

個人

ユニバーサル農業研究会@ふくろいのコーディネートで、福祉施設と農家がつながり、地域の協力も受けながら多様な担い手による「ユニバーサル農業」を展開しています。

きっかけはNPO中間支援組織での出会い

なごみかぜの長島康男さんは「障がいのある方達は就業率や賃金が低い経済的自立が難しい」という課題に直面していました。そこで農業に着目し、農業は仕事を創出するだけでなく、土や自然に触れる事で心身に良い影響もあり利点が大きいと考えていました。

一方、海外の農村開発や農業コンサルタントの仕事をしていた湖東さんは、定年で嘱託勤務となり故郷の袋井市に拠点を移し、「高齢化や働き手の不足が課題となっている農業分野で地域に密着した活動をしたい」と考えて動き出しました。2017年、袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」の紹介で長島さんと出会います。長島さんから福祉の課題を聞いた湖東さんは「農福連携」という形で課題解決ができると考え、障がい者や高齢者を含む多様な担い手によるユニバーサル農業を行うため「ユニバーサル農業研究会@ふくろい」を設立、長島さんと本事業に取り組むことになりました。

ぶどう栽培、藍染、原木シイタケ栽培等

2018年、なごみかぜの利用者の家族で高齢の花農家から、後継者のいないビニールハウスを借り、ぶどう栽培を始めました。ユニバーサル農業研究会@ふくろいの支援で、風の森サポーターやなごみかぜが運営する生活介護「風の森」の利用者が作業にあたりました。ビニールハウスの補修等の費用面ではトヨタ財団の助成を活用。2020年には35万円の売上を出すなど、順調に進んでいます。

さらに、藍染を30年以上やってきた方の指導の下、藍の種まきから収穫、すくもづくり、染めを行い、スクarfやティッシュケース、ポーチ等の製品化（6次

産業化）をめざしています。

他にも高齢のため栽培できなくなった農家からセンリョウ栽培を引き受けたり、原木シイタケの栽培と関連付けて林の整備を行うことで森林保全にも役立っています。

農福連携では一般的に季節による作業量の増減が課題となりますが、偶然にも様々な作物を栽培することができバランスよく作業できています。

地域の人たちの参加とその意義

長島さんは「かつて農村では子どもも高齢者も障がい者も役割を持ち誰もが地域社会の一員として共に働いていた。農業を軸に地域の人々をつなげ、よりよい社会につなげたい」と、地域の人にも参加を呼び掛けています。「風の森」の利用者と地域の人と一緒に作業や藍染体験会をして、地域との関わりを深めながらプロジェクトを進めています。長島さんは湖東さんと共に多様な担い手によるユニバーサル農業を実践する仕組みづくりを構築し、地域活性化をはじめ障がいのある人の社会参加や障がいのある人への理解、森林保全にもつながる活動にしたいと考えています。

プロジェクトの成果

長島さんによると、このプロジェクトを通して、障がいのある人の仕事が創出され賃金向上につながりました。さらに土や自然に触れ心身に良い影響があったり、地域とのつながりが生まれ、障がいのある人への理解を促したりというメリットもあったそうです。農業分野では、放棄されそうになっていたビニールハウスや農地・林地を活用することができ、農業の活性化にもつながっているそうです。

Point

「地域づくり」にも目を向け、多様な担い手による協働事業として「ユニバーサル農業」を提唱し、仕組みづくりをおこなっています。協働のポイントについて長島さんは「全ての取り組みのきっかけは人との関わり」とおっしゃっていました。

これからの展望

ユニバーサル農業研究会@ふくろいは、行政や社会福祉協議会、他の福祉施設とも連携し、袋井市のユニバーサル農業を推進していきたいと考え、その中間支援的役割を担っていきます。さらに、農福連携を推進していく為に、障がいのある人へ農業がもたらすセラピー的効果も検証していきたいと考えています。

